

首都圏メディアとの交流会

「つながるまち 郡山 MEET UP！」

～ 福島 HIT・モノ・コトをつなぐ拠点都市 郡山 ～



ターゲット 17.17

令和2年2月3日

郡山市文化スポーツ部

国際政策課

担当：木村 邦則

TEL：924-3711

SDGs ターゲット 17.17 「公民、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

新たな視点や手法を通して地域づくり、地域活性に取り組む事業者の方々をとおして、首都圏メディアとのパブリックリレーションを構築し、首都圏等での郡山市の認知向上を図るため、セミナー&交流会を実施します。

1 日 時 2月5日(水) 午後3時～午後5時30分 ※ 午後2時30分受付開始

2 会 場 株式会社オズマピーアール セミナールーム(8階)

(千代田区紀尾井町3-23 文藝春秋ビル新館8F)

3 内 容 ■第一部：セミナー(午後3時～午後4時30分)

(1) 郡山市プレゼンテーション「拠点都市こおりやま」

講 師：郡山市国際政策課 国際交流員 ヨースト・クラルト

(2) トークセッション

テーマ①：「つながりから生まれるものづくり・サービス」

登壇者：笹の川酒造株式会社 総務部 安斎 茉莉 氏

<日本酒・ウィスキー>

高柴デコ屋敷 大黒屋本家 21代目当主 橋本 彰一 氏

<伝統工芸品(三春張子・三春駒)>

郡山観光交通株式会社/孫の手トラベル

代表取締役社長 山口 松之進 氏

<青空レストラン事業“Food Camp”等>

株式会社富久栄商会 代表取締役 中島 茂 氏

<スペシャルティコーヒーと珈琲の焙煎技術を生かしたビーン

トゥバーチョコレート等>

テーマ②：「今求められるコミュニティづくりとは」

登壇者：有限会社仁井田本家 女将 仁井田 真樹 氏

<日本酒>

一般社団法人ブルーバード 代表理事 佐藤 哲也 氏

<まちづくり拠点「Blue Bird apartment.」>

株式会社エフライフ

代表取締役社長/スナックマスター 小笠原 隼人 氏

<Local Snack SHOKU SHOKU FUKUSHIMA/f life base

(コミュニティキッチン)>

温泉ゲストハウス湯 kori 代表 渡部 景秋 氏

<温泉付きゲストハウス/異業種コラボ地域活性イベント等>

■第二部：交流会(午後4時30分～午後5時30分)

郡山の食や観光のご紹介に加え、各参加者がブースを出展。郡山産

農産物や地酒・珈琲などの試食・試飲のほか、事業内容のご説明を

実施いたします。(※ 郡山の食：鯉の甘露煮、郡山ブランド野菜、

クリームボックス、薄皮饅頭、日本酒、ウィスキーなどご当地グルメ)

4 対 象 メディア全般

5 定 員 先着 25 社程度。参加費は無料です。

6 申込み 別添のとおり

【福島県郡山市イベントのご案内】

震災から10年に向けて 福島のヒト・モノ・コトをつなぐ拠点都市 郡山
今生まれる新たなコミュニティとイノベティブな取組を一挙紹介！

首都圏初開催！「つながるまち 郡山 MEET UP！」

～鯉やクリームボックス、地酒など郡山のご当地グルメや伝統工芸の実演も～

日時：2月5日（水）15:00～17:30（14:30～受付開始）
場所：(株)オズマピーアール 8F セミナールーム
（千代田区紀尾井町3-23 文藝春秋ビル新館8F）

東京から新幹線で約80分、南東北の拠点都市である福島県郡山市（市長：品川 万里）は、2月5日（水）に、首都圏での郡山市の認知向上を目的としたシティプロモーション事業の一貫として、「つながるまち 郡山 MEET UP！」を首都圏初開催いたします。

本セミナーでは、郡山にて地域づくり、地域活性に取り組む事業者のみならずも参加。青空レストラン事業“Food Camp”で2019年に環境省グッドライフアワードを受賞した「孫の手トラベル」や、オリジナルのスイーツでフード・アクション・ニッポンアワード2019を受賞した酒蔵である「仁井田本家」、ブックカフェや地元クリエイター向けの分譲オフィスを運営する「一般社団法人ブルーバード」、「新しい東北」復興ビジネスコンテストみずほ賞を受賞した「富久栄珈琲」など、総勢8事業者が一挙集合。震災から10年に向けて、福島の拠点都市・郡山で地域を支え、新たな取組を開拓するキーパーソン達によるトークセッションを実施します。

その後の交流会では、各事業者がブースを出展。特産物や地酒の試食・試飲のほか、地元ならではの食材をふんだんに使った料理や郡山の産品に触れていただくことができます。また、伝統工芸品三春駒や三春張子人形の発祥の地「デコ屋敷」の張子職人による絵付け実演も行います。多様な魅力をご堪能いただくと共に、地域の方々との交流をお楽しみいただけます。

つきましては、本イベントのご取材をご検討いただきますようお願い申し上げます。

※ご参加を希望される方は、2月4日（火）までに、メールまたはFAXで出欠をご回答ください。

開催概要

【日時】 2月5日（水）15:00～17:30（14:30～受付開始）

【場所】 (株)オズマピーアール 8F セミナールーム（千代田区紀尾井町3-23 文藝春秋ビル新館8F）

【内容】

■第一部：セミナー（15:00～16:30）

- ①郡山市プレゼンテーション「拠点都市こおりやま」／郡山市 国際政策課 ヨースト・クラルト
- ②トークセッション／登壇者紹介

◇テーマ①「つながりから生まれるものづくり・サービス」

- ・笹の川酒造株式会社 総務部 安齋 茉莉さん <日本酒・ウイスキー>
- ・高柴デコ屋敷 大黒屋本家21代目当主 橋本 彰一さん <伝統工芸品（三春張子・三春駒）>
- ・郡山観光交通株式会社 / 孫の手トラベル 代表取締役社長 山口 松之進さん <青空レストラン事業“Food Camp”等>
- ・株式会社富久栄商会 代表取締役 中島 茂さん <スペシャルティコーヒーと珈琲の焙煎技術を応用したピーントウバーチョコレート 等>

◇テーマ②「今求められるコミュニティづくりとは」

- ・有限会社仁井田本家 女将 仁井田 真樹さん <日本酒>
- ・一般社団法人ブルーバード 代表理事 佐藤 哲也さん <まちづくり拠点「Blue Bird apartment.」>
- ・株式会社エフライフ 代表取締役社長／スナックマスター 小笠原 隼人さん
<Local Snack SHOKU SHOKU FUKUSHIMA / f life base（コミュニティキッチン付ゲストハウス）>
- ・温泉ゲストハウス湯kori 代表 渡部 景秋さん <温泉付きゲストハウス／異業種コラボ地域活性イベント 等>

■第二部：交流会（16:30～17:30）

郡山の食や観光のご紹介に加え、各参加者がブースを出展。郡山産農産物や地酒・珈琲などの試食・試飲のほか、事業内容のご説明を実施いたします。

* 郡山の食：鯉の甘露煮、郡山ブランド野菜、クリームボックス、薄皮饅頭、日本酒、ウイスキーなどご当地グルメ

【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

福島県郡山市PR事務局（株式会社オズマピーアール内）小出、土屋

TEL:03-4531-0206 / FAX : 03-3265-5267/MAIL : kooriyama@ozma.co.jp

登壇事業者プロフィール

テーマ①「つながりから生まれるものづくり・サービス」

● 笹の川酒造株式会社 総務部 安斎 茉莉さん



本宮市出身。アメリカへ留学後、郡山市にある笹の川酒造へ2017年に就職。
創業以来「人を幸せにする酒造り」をスローガンに、幅広い酒類の製造をしてきた笹の川酒造のスッキリとキレのある日本酒をはじめ近年国内外で需要が高まってきたウイスキーの商品企画やPR等に携わる。風評被害が払拭されてない中でも笹の川酒造の魅力ある商品の国内外への発信に取り組んでいる。

● 郡山観光交通株式会社 / 孫の手トラベル 代表取締役社長 山口 松之進さん



山口タクシーグループ代表取締役。
1970年、郡山市生まれ。大学、就職を経て1997年に郡山に戻り、グループ入社。以来、福祉、旅行、飲食サービスと事業を多角化。郡山を心から愛し、地域の魅力発信、いちは地域の発展にド真剣に取り組んでいる。
2018年は復興庁「復興事業事例顕彰」で事業継承の成功事例として表彰、2019年はFoodCamp事業が環境省グッドライフアワードにて環境大臣賞優秀賞を受賞する。

● 高柴デコ屋敷 大黒屋本家21代目当主 橋本 彰一さん



「高柴デコ屋敷」大黒屋本家21代目当主。平成9年 東北生活文化大学生活美術学科を卒業、6年間福島県立高校で美術の教師を務めたあと、父の病気のため家業に戻り修行に入る。平成20年 株式会社デコ屋敷大黒屋を設立し代表取締役に就く。平成22年 デコ屋敷本家大黒屋21代当主となる。2011年、同世代の中田英寿氏が立ち上げた、伝統を継承する「匠」が持つ価値と可能性を発掘するプロジェクト「REVALUE NIPPON PROJECT」へ参加。歴史伝統を重んじつつ「張り子」の新たな可能性に挑戦し、日本の張り子文化を世界へ発信する事も積極的に取り組んでいる。

● 株式会社 富久栄商会 (店名 富久栄珈琲) 代表取締役 中島 茂さん



出身地郡山市で自家焙煎スペシャルティ珈琲店開業。米国、ブラジルの国際鑑定資格保有。世界で数少ない珈琲の国際審査員としてアフリカ、ブラジル等の審査会に招待される。珈琲の焙煎技術を応用し東北初のピーントッパーチョコレート店を開業。アフリカのルワンダに井戸提供。珈琲とカカオで世界を笑顔で繋ぐがテーマ。「新しい東北」復興ビジネスコンテスト(復興庁主催)みずほ銀行賞。インターナショナルチョコレートアワードアジアパシフィックで東北初入賞。

テーマ②「今求められるコミュニティづくりとは」

● 有限会社仁井田本家 女将 仁井田 真樹さん



郡山市出身。創業300年を超える郡山市田村町の酒蔵「仁井田本家」で女将を務める。自社栽培の無農薬米と天然水で造る酒は、2019年イタリア酒ソムリエ協会による酒品評会「ミラノ酒チャレンジ」の純米吟醸部門にて仁井田本家「にだしげんしゅ純米吟醸」が銀賞、またベストデザイン賞デザインプラチナ賞に輝くなど国内外で人気を集めている。「身体によい酒造り」をテーマに、米糶を原料とした砂糖不使用のスイーツなどの商品開発にも力を注ぐ。

● 株式会社エフライフ 代表取締役社長 / スナックマスター 小笠原 隼人さん



1984年生まれ。埼玉県所沢市出身。一橋大学商学部卒業。大卒後、葬儀・お墓に関する事業を行うアクトインディ(株)に入社。2012年8月に郡山市に移住。郡山にて子ども支援を行うNPO、創業支援を行う社団法人の事務局長等を経て、2017年に株式会社エフライフを創業。地酒飲み放題の飲食店『ローカルスナック SHOKU SHOKU FUKUSHIMA』マスターとして、毎日、かなり呑んでいるが、下戸体質。2020年春から郡山駅東口にゲストハウスを開業予定。

● 一般社団法人ブルーバード 代表理事 佐藤 哲也さん



1974年生まれ。須賀川市出身。フリーランスを経て、2011年にヘルペチカデザイン株式会社を設立。現在、郡山を本拠地に日本橋との2拠点で活動中。震災後は、一次産業(農業)や地場産業のブランディングなど、様々な企業のクリエイティブを担当し、地域の魅力を探り発信している。また、2018年6月には、郡山市清水台に一般社団法人ブルーバードを地元企業と共に設立し、地域活動の幅を広げている。

● 温泉ゲストハウス湯kori 代表 渡部 景秋さん



2018までアパレル会社に勤め、店舗運営やマネジメント、人材育成などの仕事を経験。地元に戻り人と人が繋がる仕事したい、地域の良さを伝える仕事したい!!との思いから、2019年4月に磐梯熱海温泉に温泉付きのゲストハウスを開業した。1Fにはカフェバーを併設し、地域の方と宿泊者をつなぐ場所を作り、カフェ時間では地域の野菜やお米を使ったランチを提供、またバー時間では福島地酒を提供し、地産地消を行いながら地域の良さを発信している。また、定期的に異業種とコラボイベントを開催し、地域活性を計っている。

会場のご案内

(株)オズマピーアール8F セミナールーム

【所在地】
東京都千代田区紀尾井町3-23
文藝春秋ビル新館8F

【アクセス】

- ・有楽町線麹町駅1番出口から徒歩3分
- ・半蔵門線半蔵門駅1番出口から徒歩8分。

※文藝春秋ビル【新館】のエレベーターで、直接8Fにお上がり下さい。
※駐車場のご用意はございません。公共交通機関でお越し下さい。
※館内は禁煙となります。喫煙の際は、建物外の喫煙スペースをご利用下さい。



【福島県郡山市イベントのご案内】

震災から10年に向けて 福島の人・モノ・コトをつなぐ拠点都市 郡山
今生まれる新たなコミュニティとイノベティブな取組を一挙紹介！

首都圏初開催！「つながるまち 郡山 MEET UP！」

～鯉やクリームボックス、地酒など郡山のご当地グルメや伝統工芸の実演も～

日時：2月5日（水）15:00～17:30（14:30～受付開始）
場所：（株）オズマピーアール 8F セミナールーム
（千代田区紀尾井町3-23 文藝春秋ビル新館8F）

第一部 セミナー（15:00～16:30）

ご出席 ご欠席

第二部 交流会（16:30～17:30）

ご出席 ご欠席

※誠にお手数ではございますが、本 F A X 返信用紙もしくはメールにて
2月4日（火）までに、ご取材のお申込みを頂けますよう、お願い申し上げます。

貴媒体名			
貴社名			
部署名			
ご芳名			他 名
ご連絡先	TEL	FAX	
当日のご連絡先			
MAIL			
カメラ	ムービー	/	スチール
備考			

※当返信用紙にご記入頂きました個人情報は、個人情報保護法の主旨に照らして、慎重に取り扱わせていただきます。

【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

福島県郡山市PR事務局（株式会社オズマピーアール内）小出、土屋
TEL:03-4531-0206 / FAX : 03-3265-5267/MAIL : kooriyama@ozma.co.jp

当日の連絡先：小出（携帯） 080-5896-6048